人と暮らしの 伊那谷遺産 プロジェクト

目的は

伊那谷には美しくも厳しい自然風土の中で、土木のものづくりを工夫して生活を営んできた先人の足跡が多く残されています。土木のものづくりを振り返ることで先人が向き合ってきたことを再確認し、継承していくことは、地域の皆さんが地域課題を一つひとつ克服していくうえで役立つものと考えました。天竜川河川事務所が進める治水・河川管理等の取り組みについて、これらの先人の営みを踏まえて整理し、情報発信していくことで、防災教育や地域振興をより効果的に支援していきます。

プロジェクトの内容

1. 「人と暮らしの伊那谷遺産プロジェクト選定委員会」の開催
2. 選定した「伊那谷遺産」の公表
3. 「伊那谷遺産」を防災教育や地域振興などの様々な分野で活用

遺産の選び方

委員会を開催します

学識者、郷土研究家、地方自治体職員などで構成する選定委員会を開催し、遺産の選定や活用方法を検討します。

基準があります

●選定の範囲

原則として上伊那地域及び飯伊地域の 22 市町村とし、関連する周辺地域より選定することを妨げないものとする。

●選定の基準

次のいずれかを満たしていなければならない。

①土木工学的な工夫が認められる遺構
②自然史や自然災害の歴史を示すもので後世に引き継ぐべきもの
③地域住民が生活していくうえで、努力や工夫をしなければならなかった背景が判るもの

●除外の基準

①伝承のみで実体がないもの
②信仰の対象であることしか認められないもの
③著名な災害にまつわるもの以外の碑

100 件を目指します

平成 25 年 10 月現在、89 件認定。100 件を当面の目標として、今後検討します。

選んだ理由は？

例）**名古山の水除け**（なごやまのみずよけ）

・所在地：飯田市南和田名古山
・築造年：江戸時代
・該当する基準：③
　水害や土砂災害に適応してきた先人の足跡を体感できるものとして選定。

昭和の初めの土石流でも家を守った実績がある

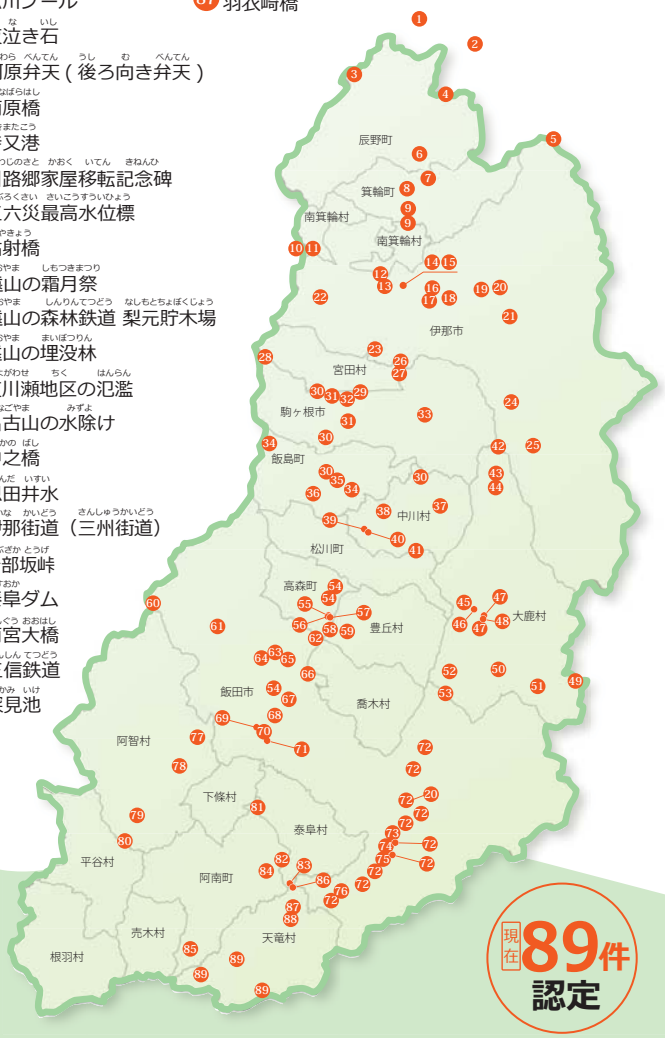
例）**上蔵砂防堰堤**（わぞさぼうえんてい）

・所在地：大鹿村大河原
・築造年：昭和 29 年
・該当する基準：①
　土木工学的な工夫がみられるものとして選定。平成 21 年には国有形文化財に登録された。

小渋川に築かれた堤高 23m のアーチ式コンクリート造堰堤

これまでに選ばれた伊那谷遺産

1 善知鳥峠
2 びったら橋
3 牛首峠
4 東天竜一貫水路
5 杖突峠
6 北の沢眼鏡橋
7 伊那路橋
8 (旧)深沢川水路橋
9 西天竜幹線水路 円筒分水工群
10 木曽山用水
11 権兵衛峠
12 西天竜幹線水路 流末の階段工 (小沢のそろばん滝)
13 御子柴艶三郎による井戸
14 入舟船着場
15 大橋
16 さんよりこより
17 霞堤
18 伝兵衛五井
19 虹橋
20 秋葉街道(高遠)(上村上町)
21 美和ダム
22 小黒発電所
23 伊那市諏訪形の猪垣
24 粟沢川掘り抜き
25 三峰川の森林鉄道跡
26 北の城橋
27 大久保発電所
28 千畳敷カール
29 太田切川 橋場礎石
30 田切地形／田切地形のビューポイント
31 太田切川の井筋
32 切石公園
33 濁流の子～伊那谷災害の記録(出版物)
34 百間ナギ／百間ナギのビューポイント
35 千人塚公園 城ヶ池
36 日向沢砂防堰堤
37 四徳集落跡
38 坂戸橋
39 お志茂の水除け
40 理兵衛堤防
41 小渋ダム
42 分杭峠
43 北川露頭
44 北川集落跡
45 大西山崩壊地
46 小渋橋
47 鳶ヶ巣大崩壊地／鳶ヶ巣大崩壊地のビューポイント
48 上蔵砂防堰堤
49 荒川大崩壊地
50 前茶臼ナギ
51 七釜砂防堰堤
52 安康露頭
53 地蔵峠
54 竜西一貫水路
55 三界萬霊塔／六地蔵
56 夜泣き地蔵／出砂原の大石
57 惣兵衛堤防
58 伴野堤防
59 竜東一貫水路
60 大平峠
61 松川第一発電所
62 座光寺石川除
63 めがね橋(長姫橋)
64 松川プール
65 夜泣き石
66 河原弁天(後ろ向き弁天)
67 南原橋
68 時又港
69 川路郷家屋移転記念碑
70 三六災最高水位標
71 姑射橋
72 遠山の霜月祭
73 遠山の森林鉄道 梨元貯木場
74 遠山の埋没林
75 夜川瀬地区の氾濫
76 名古山の水除け
77 中之橋
78 恩田井水
79 伊那街道(三州街道)
80 治部坂峠
81 泰阜ダム
82 南宮大橋
83 三信鉄道
84 深見池
85 雪祭
86 天竜橋
87 羽衣崎橋
88 平岡ダム
89 天龍村の霜月神楽



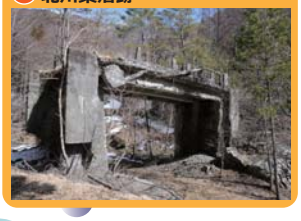
現在89件認定

12 西天竜幹線水路 円筒分水工群

14 入舟船着場

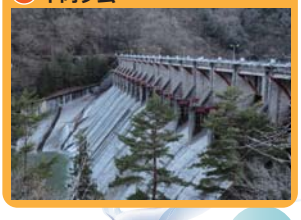
38 坂戸橋

40 理兵衛堤防


44 北川集落跡

45 大西山崩壊地

55 三界萬霊塔／六地蔵


88 平岡ダム

人と暮らしの 伊那谷遺産 プロジェクト

活用 1 皆さんに広く知ってもらいます

報道機関への呼びかけ

地元テレビ局、新聞社、企業広報担当部局などに連携を呼びかけました。

ラジオ放送で PR

SBC 信越放送ラジオ番組で伊那谷遺産の紹介や地域に連携を呼びかけました。

コラム フェイスブックでも情報発信しています

『人と暮らしの伊那谷遺産』の写真や取り組みを発信しています。

活用 2 デジタルコモンズ宣言

伊那谷遺産デジタルコモンズの整備

伊那谷遺産に関する情報を集積したデータベースを天竜川上流河川事務所のホームページに整備しています。パブリック・ドメイン（共有財）として、誰でも自由に利用して頂けます。

説明資料

google 地図情報

説明資料、google 地図情報等を参照するQRコード→

各種記事の閲覧

伊那谷遺産に関する連載記事や天竜川上流河川事務所発行の各出張所通信を見ることができます。

活用 3 参加型イベントを手助けする資料を提供します。

デジタルガイドマップ 現在作成中

画面に表示された場所の目印をタッチすると、史跡などのランドマークに関する説明や写真、観光情報を見ることができます。
地図を見ながら伊那谷遺産を散策することができます。

三峰川みらい会議資料 現在作成中

地域団体の主催する参加型イベントの説明資料を提供します。

活用 4 災害教訓を伝承する仕組みをつくります

●濁流の子～伊那谷災害の記録

三六災害をまのあたりにした小学生、中学生、高校生らの作文をまとめた文集。1964 年（昭和 39 年）に発行された。

[語り継ぐ “濁流の子” プロジェクト]

三六災害等の記録を収集・整理・公開する事業を始めます。